

**《事後「振り返り」アンケート》まとめ**  
**セッションA：国際教育における異文化理解促進（提出者 15名）**

**1. 本セッションの満足度（回答箇所に○を記入）**

とても満足 7  
満足 8  
どちらとも言えない  
すこし不満  
不満

**理由：**

- ・期待していたことに十分答えてくれる内容でした。
- ・色々な大学の方の考えや、取り組みが理解できた
- ・WS やアイスブレイクでチームのメンバーと仲良くなれたことと、理論がすごく勉強になりました。雰囲気もよく、先生方が工夫してよい雰囲気を作ってくさっているのがわかりました。先生、受講者からの例もおもしろかったです。自分の授業のアイデアも多くいただき、とても有意義なセッションでした。ありがとうございました。
- ・セッションの順番がワークから入り、2日目が座学だったことがすごくよかったと思います。また、講師のお二人がわかりやすい例を使いながら説明くださったことで、難しいと思っていた理論についても、自然に理解することができました。
- ・知識が得た。参加者と仲良くなった。
- ・様々な国際教育に関する新しい知識を得ることができたため（特に欧州における文化の定義や様々なアクティビティを知ることができたこと）。また、普段からの課題を参加者の皆さんや講師の先生と共有して、解決のヒントをもらえたため。
- ・本研修で学びたいと思っていた内容を学ぶことができ、また異文化理解教育について学んでみたい分野ができたから。
- ・異文化理解に関して、何も知らない状態で参加したため、セッションについていくことができるかどうか、少し不安なまま参加しました。しかしながらアイスブレイクに始まり、適宜、グループワーク等が盛り込まれていたため、「まったく内容を理解できない」ということにならず、終えられたと思っています。  
また、異文化理解に関して、さまざまな理論等をご教示いただいたことも、これまでの経験や体験を論理的に理解することにつながったと思っています。
- ・異文化理解に関する基本的な理論を学べただけでなく、グループワークを通して他大学の教職員とお互いの業務について意見交換することが出来たから。
- ・他大学の取り組みなどを知れた。
- ・自分が担当するプログラムのヒントを得ることができた。
- ・ご説明いただいた理論を、どのように実践に活かすかのケーススタディをぜひステップ

アップのセッションとして継続して学びにつなげていけたらと思います。それぞれの大学の課題や解決策としてのアイデアのシェアリングや、他業種の方をまじえてのアイデア交換などに発展していけると理想的だと思いました！

- 理論と実践のバランスがよく、時間数もちょうどよかった。実践面ですぐに応用ができそうな内容であったので、

- 異文化理解促進という観点から、座学はもちろんアクティビティ等を通じて様々な気づきを得る事が出来たから。また、グループワークの中で学びあった内容をアウトプット、アウトカムする時間もあり他者の目線での考え方や気づきもあり有意義だと感じたから。

## 2. 本セッション全体の感想（ご自由にお書きください）

- ・理論を実践に結びつけることが、反対に実践に理論を結びつけることができる内容でした。
- ・同じセッションの人とよく話すことができ、また次のセッションCでも同じだった受講者の方とは、2日目の夕食を一緒に食べて、交流ができました。いろいろな方の話が聞けたことが勉強になりました。JTBの方々の話は、普段聞けないので、新鮮でした。異文化理解をテーマにした、ワークショップは初めてでしたので、今後参考にさせていただきたいことがたくさんありました。
- ・最初にワークがあったおかげで同じグループの方たちとの距離をすぐに縮めることができました。それは、グループワークやそれ以外での情報交換の際にも良い影響となりましたので、研修全体の満足度にもつながりました。  
ワークをしていく中で、留学や異文化体験をする学生が実際に体験する（した）感情や思いを私自身も思い出すことができました。座学では、フィードバックの大切さ、特に体験を文字で記録することの大切さを、成長の家庭という形で学ぶことができ、より理解を深めることができましたし、学生へも「フィードバックの意味を伝える」活動をしていこうと思いました。とても有意義な研修となりました。本当にありがとうございました。
- ・新しい知識やアイデアも沢山得ることができましたし、これまで抱えていた課題の解決へのヒントもいただくことができました。本当に有意義で楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・企業・先生・職員の側、派遣・受入、日本人・外国人と、様々な視点から学ぶことができよかった。また、ディスカッションを通して、お互いに、テーマに沿って考え、話す時間が多くあってありよかった。
- ・アクティビティには、それぞれ意味があって、取り入れる際の参考になった。
- ・理論とアクティビティの双方が取り入れられていてよかった。
- ・さまざまな立場から高等教育に関わっている方々と情報や経験を共有できたことで、自分自身や勤務先で抱えている課題の整理につながりました。しかしながらその課題が整理できた一方で、その解決をすぐに実行できるわけではありませんので、その点についてはこれから自分自身で努力をしていかなければならないと思っています。  
セッションでは、グループで紙新聞のタワーを作成するワークが、とても印象に残っています。セッション後に、もうひとつのグループの方と同ワークについて話をする機会がありました。各自が割り当てられた役割を実行することに対して、私の参加したグループとその捉え方が大きく異なっていたので、その差をとてもおもしろく感じました。  
また、セッションの中で使用されたアイスブレイクは、とても有効に感じるものがありました。今後、業務等で使っていきたいと思います。
- ・国際関係部署での業務経験がわずかからか月で、専門的な経験を積まれている他大学の教職員の方とのグループワークには不安もありましたが、自分なりの知識・経験をもとに楽しく有意義な情報交換が出来ました。  
異文化感受性発達モデルでは、海外を二度しか訪れたことのない自分はまだ二極化あたりにいると感じ、海外慣れされて異文化を新鮮に感じられなくなったという方々とは全然違う段階だと思いましたが、これから初めて海外に出ていこうという学生により近い立場でアドバイスを

出来る可能性も感じました。

振り返りの重要性も認識することができ、特別な金銭的コストをかけなくても、事前・研修中・事後指導の内容や機会を見直すことで、学生に海外経験からの学びをもっと深めてもらえるのではないかと思います。特に、上手くいかなかった留学経験もシェアする価値があるというのは、素晴らしい留学体験に注目しがちな中で新しい視点でした。

・アイスブレイク、自分自身を振り返り共有するアクティビティなどで実践的な学びであったと感じる。自分の担当業務には直接関係しない内容だったが、反映できる内容もあったと思った。

・自分が元々国際教育を専門としないにもかかわらず大学でそういった仕事をしていることに、引け目やコンプレックスを感じつつここまで参りました。そうした中で今回異文化理解に関する教育について、理論的な背景を様々な実践を通じて学ぶことができ、これからの授業展開への重要な「武器」になりそうだけでなく、(変な言い方ですが)自分自身への励ましにもなりました。お世話になりました。筆内先生・川平先生に感謝申し上げます。

・普段の業務で留学(送り出し・受け入れ)のサポートを行っており、留学数を増加させるという量的な側面に注力しがちになっています。このセッションでは、「異文化理解」をキーワードに留学をする一人一人にとって留学がどのような影響を与えるのか、という質的な側面を取り上げていただき、新鮮な気づきを与えていただきました。留学について量的な施策だけではなく、質的な向上のためにも時間を使っていきたいと感じています。

・教員と職員、また他業種のJTBさんを交えて意見交換ができたことが非常に興味深かったです。アクティブラーニングを体験させていただけたことも、アクティブラーニング世代ではない私には非常に有意義でした。ただ、シェアしたいものがモリモリにある世代の私たちには、時間設定が非常に短く感じ、もう少しじっくりお互いのバックグラウンドやお互いの課題、また目指しているものなどをシェアするチャンスがアイスブレイクに盛り込んでいただけると嬉しい気がしました。

セッションの内容についても、セオリーを踏まえて実践にどう活かすかの具体的なイメージにつなげるには時間が足りなく、教員の立場での課題やアイデア、職員の立場での課題やアイデアなどをその場のセッションのディスカッションの材料にすると、よりディスカッションが活性化するように思いました。

・学生の学びを促す問いの立て方や、効果的なワークショップとはどんなものか、理論部分での知識をどのように実践の場で生かすかについて、再考する機会を得ることができました。また、自らの異文化体験を改めて振り返るという経験も貴重でした。今後は、留学生の送り出しの事前講習や、国際研修にこれらの研修の成果を活かしたいと思えます。

異文化間理解に関する研究というとアメリカに偏っているような気がしていましたが、欧州の状況も対比して紹介していただけで良かったです。私自身は欧州滞在が長かったので、色々と腑に落ちる点がありました。

また、参加者同士でのアクティビティが多かったため、お互い経験を分かち合い、学び合える部分も多く、非常に充実した研修でした。ありがとうございました。

・普段の生活の中では、国際教育観点での論理や文献に触れる機会がないため、非常に有意義であった。一方で、論理は理解できるがより具体的な場面の想定等、実に近い例え話等があるとより腹落ち出来たのではないかと感じる。

### 3. 講師・ファシリテーターについて （回答箇所に○を記入）

とても満足 9

満足 6

どちらとも言えない

すこし不満

不満

#### 理由：

- 理解しやすい言葉でお話しただけでした。
- 雰囲気作りがとてもよくなされていて、楽しく学ぶことができました。
- 少し理解が困難という内容の場面でも、たとえのお話しがわかりやすく、「なるほど、そういうことか」と理解することができたので
- BRIDGE の皆さんの研究テーマに非前から興味があるため
- 国際教育の分野にすごく熱心で前向きな姿勢を感じたから。
- グループごとに、相談や自身が書いたものを共有している時間に、グループの話に時折混ざっていただき良かったです。
- わかりやすく丁寧な説明で、場の雰囲気づくりもとてもお上手だったから。
- テンポよく進めていただいた。
- 研修の中身はもちろんですが、アイスブレイキングや進行を巧みになさる両先生のやり方も大変参考になりました。自分も(できる範囲で)真似してみたいです。
- お話される内容はもちろんのこと、お話される声のトーンやスピードなど、プレゼンテーションスキルとしても大変参考になりました！
- 非常に説明もわかりやすく、活動もすぐに教室で使えるようなもので、全体の流れもスムーズでした。

#### 4. 本セッションについて、要望や改善点があれば教えてください。

- BRIDGE Institute さんのセミナーでされているワークをもう少し入れられれば良いかと思いましたが、今回の時間では難しいですね。
  - 具体的な理論の使い方についても聞きたかった
  - もう少し皆さんが抱えている課題を共有して、意見を交換できる時間が多めにあると尚よかったと思います。
  - 今回のセッション参加者は、おそらく私だけでなく数名の方が、「そもそも異文化理解とは？」という知識レベルであったかと思います。（他参加者と話をして、私はそのように感じました）
- 大多数の参加者は、留学プログラム運営に携わっている教職員の方であったとは思いますが、そうでない参加者がいることを前提に、本当の基礎知識レベルの説明を行っていただけだと大変ありがたかったです。もしくは参加前に、読んでおくとい参考図書や論文の紹介をしていただけると、理解の促進につながったかと思います。
- スライド資料を印刷して配布してもらえるとメモが取りやすくて良いかと思います。事前にデータをアップしていただいて各自印刷する形でも構いません。
  - 「異文化理解」の理論についてのお話が大変興味深かったので、理論編の割合を多くしていただくと良いかと存じます。
  - 理論と実践をセットで構成していただくと、実務担当者の職員には非常にイメージがつけやすかったように思います。
  - 参加者からの質問が多かったせいもあったのかもしれませんが、理論の部分のセッションが少し盛り込みすぎで、時間が足りなくなりました感がありました。マナバ上でアンケートに記入できませんでした。（ブラウザを変えてみたのですが、うまくいきませんでした）
  - 特にありません。

#### 5. 今後 BRIDGE Institute に企画してほしい研修やテーマ等（もしあれば）

- 現状、特にございません
- 人間関係
- 「振り返り」についての具体的な方法研究
- 異文化発達理論の各段階における学生の気づきの促しについての具体的な方法
- 海外渡航前学生向けの異文化理解教育をするための研修
- 個人ではなく、組織全体として異文化理解を進めていくことを目的として、その方法、それに関する課題、海外を含めた他組織 の状況等を共有できる研修があれば、ぜひ参加したいと思います
- 魅力的な(日本人学生向け)海外留学プログラムの開発に興味があります。
- それぞれ異文化理解の受容レベルの異なる学生に、どのようなアプローチをするのが良いのか、具体的な実践方法を取り上げていただくと非常にありがたいです。
- 留学前の研修を担当しているので、学生の異文化理解を促すワークショップやシミュレーションの方法をもっと学びたい。
- IDI（Intercultural Development Inventory）を受けてみたい。

2018年9月26日 まとめ